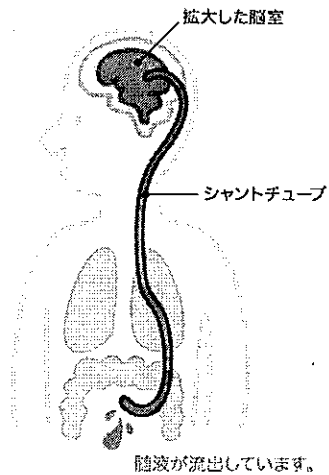
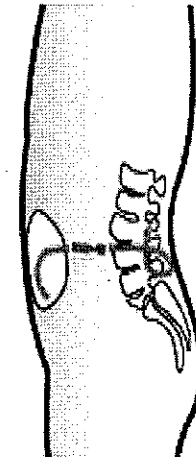
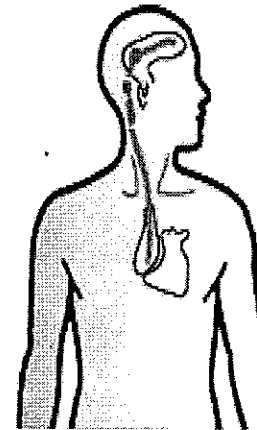
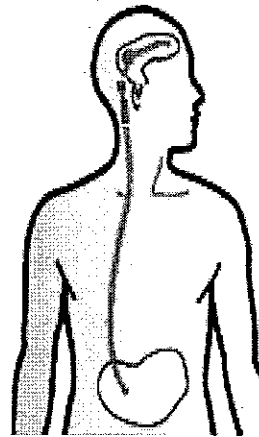


体内に圧可変式シャントを 埋設された患者さんのMRI検査時の注意点

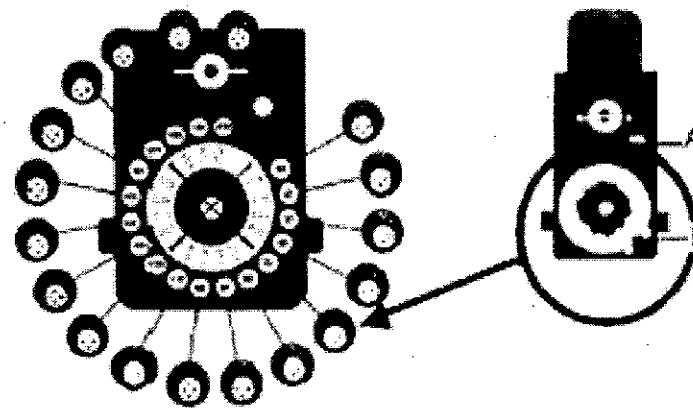


① 検査前夜、検査当日の夜は禁食禁水です。



水頭症の治療で体内に圧可変式シャントが埋設された患者さんに対してMRI検査を行う場合、磁場の影響でシャントバルブ圧が変化することがある。

シャントバルブは、頭部もしくは腹部に埋設されているので単純X線撮影でシャントバルブの圧が変化していないかどうか確認が必要である。



A: ホワイトマーカー
(シャントバルブの裏表を示す)

B: 圧インジケータ
(例: 70mmHgを示す)

この位置によって
設定圧が確認できる。

圧インジケータの
位置と対応する設定圧

圧可変式シャントバルブの
インレットバルブ部を上部
より X線撮影した画像